

心の歌「浜辺の歌」

本時の目標

情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。

「浜辺の歌」の詩は、作詞者の林古溪が「はまべ」と題した詩をもとに、成田為三が音楽をつけた曲です。林古溪はどの浜辺を指すのかは明言していませんが、幼少期を過ごした辻堂海岸（神奈川県藤沢市）をイメージしてつくられたのではないかとわれています。美しい浜辺を描写した楽曲に触れてみましょう。

【曲を聞いてみよう！】

教育芸術社 HP を参考にしてください。歌える人は歌ってみよう！

【空欄に当てはまる語句や記号を埋めよう】

作詞【①】作曲【②】
拍子【③】拍子【④】速度【④】♩＝

【歌詞で使われている言葉の意味を書きましょう】

この楽曲の歌詞は少し古い日本語が使われています。言葉の意味を調べて、現代の言葉に直してみよう！

教科書や辞書を参考にしてください。

【①あした：】 【②しのぼるる：】
【③ゆうべ：】 【④もとおれば：】

	歌詞	歌詞の大意（教科書を参考に自分の言葉で作ってみよう）
1 番	あした浜辺を さまよえば 昔のことぞ しのぼるる 風の音よ 雲のさまよ 寄する波も かいの色も	朝、浜辺をさまよっていると、昔のことがおもいだされるなあ。 それは風の音だったり、雲の様子だったり。 浜辺に打ち寄せる波や貝の色まで。 なにもかも昔のまま変わっていないんだなあ。
2 番	ゆうべ浜辺を もとおれば 昔の人ぞ しのぼるる 寄する波よ かえす波よ 月の色も 星のかげも	⑤

【使われている音楽記号】

音楽記号	読み方	意味	音楽記号	読み方	意味
<i>rit.</i> (<i>ritardando</i>)	⑥	⑦	<i>p</i>	⑩	⑪
	⑧	⑨		⑫	⑬

【曲についてまとめてみよう！】

⑭歌詞の情景を表しているものを選びましょう。

- ア 浜辺を歩きながら、次の日を楽しみにしている
イ 浜辺を歩きながら、昔を懐かしんでいる。

⑮この曲では  と  の音楽記号が繰り返し使われています。なぜでしょうか。理由を考えてみましょう。

【理由】

⑯この曲に合う歌い方はどちらでしょうか。あっていると思う方を選びましょう。

- ア 細かい強弱の変化や旋律の起伏が少ない曲なので、淡々と歌ったほうがよい。
イ 大きな2拍子を意識して、流れるように歌う。

【歌ってみよう！】

以下のポイントを意識して、浜辺の様子を思い浮かべながら歌ってみよう。

「浜辺の歌」を歌う上でのポイント！

① 波の様子を旋律のアップダウンと強弱で表現しよう

💡ヒント💡

波が押し寄せてくるときを想像してください。音の強弱はどう変化しそうですか？

② 「風の音よ 雲のさまよ」で感情をこめて歌う

※この曲の一番の盛り上がりの部分です。たっぷり息を吸って、感情豊かに表現しよう。

(どんなことを思い浮かべたらいいかな？景色を想像してみよう)

③ 6/8拍子のリズムを感じよう

8分の6拍子は複合拍子という拍子で、2つの拍が同時に流れている拍子です。大まかにとると大きな2拍子と細かな3拍子のビートが同時に流れているのです。拍の流れを感じてみましょう。言葉で説明されるより、実際に体験した方が話がはやいので、授業が再開されたらやってみましょう！